

一 般 質 問 通 告 表

平成25年第1回始良市議会定例会（6月20日 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 竹下日出志	1. 防災と男女共同参画について	<p>(1) 女性の代表者も参画する「地域防災計画見直し検討委員会」を発足させ、女性や乳幼児・高齢者や障がい者など、男女共同参画の視点を生かした防災計画の策定はどのようになっているか。</p> <p>(2) 避難所運営で女性の参画を推進し、男女双方の視点に配慮した防災を進めるため女性の防災リーダーを育成する考えはないか。</p> <p>(3) 妊産婦を災害時要援護者に追加する考えはないか。</p>	市長
	2. 子育てを支援するための基盤整備の推進について	<p>本市では、安心して子どもを育てることができる支援体制の整備として</p> <p>① 休日保育の実施と広報</p> <p>② 家庭的保育（保育ママ）事業の実施</p> <p>③ あいら子育てサポートセンター事業の推進</p> <p>④ 赤ちゃんの駅推進とマップの作成は、どのように考えているか。</p>	市長 教育委員長
	3. 高齢者が暮らしやすい環境づくりについて	<p>高齢者の見守りや孤立死防止対策、地域の共助力を高める取り組みとして、黄色い旗運動を実施する考えはないか。</p>	市長
	4. 市税等の収納率の向上対策について	<p>税金及び水道料金、市営住宅家賃等の公共料金のクレジットカードによる支払制度を導入する考えはないか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	5. 行政サービスの向上対策について	<p>雨天時でも脇元地区公民館を、利用者が気持ちよく使用できるように、駐車場を整備する考えはないか。</p> <p>また脇元地区公民館は、災害時の避難場所である。県道側から駐車場へ進入できるように改善することにより、災害時の市民サービス向上を図る考えはないか。</p>	市長 教育委員長
2. 里山 和子	1. 市長の政治姿勢を問う。(憲法改正について)	<p>南日本新聞社が5月中旬～下旬、鹿児島県知事と県内43市町村の首長に実施した憲法についてのアンケートで、市町村長の55.8%（24人）が憲法改正を支持し、39.5%（17人）が9条見直しに賛成の立場であることが分かったと5月31日付けの朝刊で報じている。9条見直しに反対した市長は、日置市と始良の笹山義弘市長の2人。8市長が賛成派だとしている。9条見直しについて、「どちらかという反対」と笹山市長は答えておられるが、「専守防衛を担う自衛隊は、規模的には軍隊で、現在の国際紛争に対応するには、国際国家として役割を担う必要がある。」とコメントされている。</p> <p>自民党の主張する国防軍の明記や集団的自衛権の行使を匂わせるものであるが、この解答はどちらかといえば反対になるのかどうか問う。</p> <p>また、「今後、憲法見直しの動きが出てきた場合、何を議論の対象とすべきだと思いますか。」に対する解答で、「日本人のアイデンティティーを確立する文言を明確にすべきであり、その議論を深める必要がある。」とコメントされているが、具体的にはどういう文言になるのか問う。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 子どもの医療費 中学校卒業までの無 料化と窓口負担ゼロ の取り組みについて</p>	<p>子どもの医療費が小学校卒業まで無 料になって2年半近く経過したが、県 内では、8市5町2村で中学校卒業ま で無料化になり、霧島市も平成25年 10月から開始する予定になっている。 また、病院窓口で無料にしないとお 金がない時など病院に行けないこと もある。償還払いによる事務処理が減 るというメリットもあり、重症化する前 に病院に行けるので、医療費の高額化 の抑制が期待できると他県の先進地 では言われている。 始良市でもこの2つのことに取り組 んでみたらどうか。</p>	<p>市長</p>
	<p>3. 小中学校体罰の アンケート調査につ いて</p>	<p>(1) 市内小・中学校の体罰の実態に ついて、子どもをもつ各家庭にアンケ ート調査をし、その結果を3月末に教 育委員会の方でつかみ、県教委に報告 するということがあったが、体罰の実 態はどのように報告されたのか問う。 (2) その結果に基づき、市教委は各 家庭に対して、どのような指導方法で 臨むのか。また、今後県教委との連携 はどうしていくのか問う。</p>	<p>教育委員長</p>
	<p>4. 旧吉田町にある 一般廃棄物処分場の 解体撤去について</p>	<p>先日、日本共産党の鹿児島市議 桂 田議員（元旧吉田町議）から旧吉田町 にある一般廃棄物処分場を早く解体し て撤去してほしいと旧吉田町で市民か ら言われているという話を聞いた。 鹿児島市に迷惑をかける形で施設が 残されているが、解体にどの位の費用 がかかるのか。また、撤去できない理</p>	<p>市長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		<p>由は何か問う。 1日も早く解体撤去すべきと考えるが、いつ頃までかかるか見通しを示せ。</p>	
3. 小山田邦弘	<p>1. 観光による笑顔づくり</p> <p>2. 交通安全による笑顔づくり</p> <p>3. 子育て支援による笑顔づくり</p>	<p>(1) あいらびゅー号など行政主導の各観光施策や民間の観光事業も含め、観光客がもつ満足・不満をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 徐々に増えてきている観光客を迎え入れる地域住民、観光事業者の満足・不満、さらには期待をどのように捉えているか。</p> <p>(3) 現状における観光客、地域住民、観光事業者の満足度を増大させ、不満を解消させるための具体的な取組がなされているか。</p> <p>(1) 鹿児島県、始良市ともに交通事故、特に死亡を伴う重大な事故に歯止めがかかっていない危機的状況をどのように捉えているか。</p> <p>(2) 交通事故の中でも高齢者が引き起こしたり、巻き込まれるケースが極めて高くなっているが、高齢者に特化したキャンペーンを展開する考えはないか。</p> <p>(1) 子育て支援の直接的な受益者は保護者であるが、最終的な受益者としての子どもの満足・不満は政策上取り込まれているか。</p> <p>(2) 社会的に男性の育児参加、育休の延長などが進められようとしている。公的機関である市役所</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>はこれをリードすることも期待されるが、本市での取組状況をどのように捉えているか。</p>	
<p>4. 湯元 秀誠</p>	<p>1. 斎場の設置場所は再考すべき</p>	<p>第3次実施計画に27年度から斎場建設に関する計画が提示されている。現在の施設の老朽化などによる建設の必要性は理解できる。</p> <p>(1) 現在の斎場の道路反対側の市有地に建設予定と説明を受けているが、設置の場所として本当にふさわしいと考えているのか、真意を問う。</p> <p>(2) 「合併したことによる市民の幸福感とは」と思うに、人生の終焉を迎える場所として、また家族の方々の悲しみなど癒す場所としては、冬は日当たりも悪く、あまりにも寒々しい所だと現在地でも思うが、計画が最適地と考えるか問う。</p> <p>(3) 場所選定には広く市民の声を聞く必要性もあっていいと思うが、いかがか。</p> <p>(4) 最近の出来事に、斎場近くの道路の土手に斎場へ向かうマイクロバスが激突して多数の負傷者が出た。親族の方の悲しみに加え、あまりにも悲惨な事故である。今後あってはならないことではあるが、広域的有事が発生したとすれば、狭く行き止まりに近い今の進入路の道路事情で機能するのか疑う。斎場建設と道路整備はどのように進めるのか計画を示せ。</p> <p>(5) 合併直後に山田口～木田への道路新設を提案、質問した。答弁では否定された。しかし、その後の総合計画に中部横断道路の名称で浮上してきて喜ばしいことである。この中部横断道路の延長線沿いの、日当たり、見晴らしの良い場所に設置すると理想の斎場</p>	<p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 開発と道路新設について	<p>になると提案するが、どうか。</p> <p>始良市は、合併して今日まで順調に帆を進めていると、市長は会あるごとに発言されている。合併して様々な問題・課題を抱えてしまった市町村がある中、コンパクトな機能の高い始良市は合併した市町村の中に於いては理想的な市といえる。</p> <p>今後は市の全体についてもバランスよく発展させなくてはならない。</p> <p>(1) 合併の効果ともいえる企業誘致も順調に進み、ほかの市町村の土地開発公社では土地の用途処理ができず、解散・廃止が進む中、始良市は公社の実績も良く企業誘致、住宅用地の確保が必要とのことである。今後の用地確保はどのような政策で進めていくのか問う。</p> <p>(2) 計画を進めようとしているスマートインターチェンジよりトンネルの計画のある伊集院～蒲生～溝辺線へ繋ぐ、吉田を境にする山の里沿いに産業の振興を図る目的のある道路の新設は考えないか問う。</p> <p>(3) 市側の積極的な将来志向と、土地の所有者や周辺住民の理解がないと進めることが難しいと思うが、投資効果・住民の意向の調査はできないか問う。</p>	市長
5. 谷口 義文	1. 生活保護（法）について	<p>生活保護とは、すべての国民の最低生活の保障と自立助長を図る為の所得保証制度。日本国憲法 25 条の生存権規定を具現化した制度で「最後のセーフティネット（安全網）」といわれている。</p> <p>先月、大阪市で 28 才の母親と 3 才の男の子がマンションで死亡していたの</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 防災（減災）について</p>	<p>が、報道された。収入も貯えもなく、電気・水道は止められ、食べるものがなく餓死したのではとのことだった。このような悲しく、痛ましい生活困窮者の事例もあれば片や東京では、2億円もの稼ぎがありながら、「お金を貯めたかった」という単純身勝手な理由で、不正受給していた女性もいた。法制度がありながら、何らかの理由で受給できないでいる多くの弱者もいれば、逆にしたたかな人もいる。不公平・不平等である。</p> <p>このような事例は、本市でも起こらないとも限らない。真に受給を必要とする人々の為の保護であることを望む。</p> <p>本市に於いては、保護受給に関し、どのように向き合い、取り組んでいるのか対策を示せ。</p> <p>防災といえば地震、大雨、洪水、台風あるいは原子力と多様な災害対策がある。今年8・6水害から20年目の年であり、本県、本市に於いても当時は数多くの犠牲者が出た。我々はこの教訓を生かさなければならない。現在、梅雨に入っており、大雨による洪水と土砂災害の増加が懸念される。その後は台風シーズンとなり被害も大きく拡大する恐れもある。とりわけ身近な大雨、洪水、台風発生により、日常生活道路、通学道路等に浸水が予想される箇所、地盤が緩んで土砂災害が発生しそうな箇所、傾斜地にある家屋の倒壊、崩落の危険のある橋等、どのような被害が発生するか未知数である。これらの件に関して、事前に対処すべき策はあるのか。</p>	<p>市長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	3. 改正道路法について	改正道路法が可決、成立したが、本市では国に要請すべき事案等はあるのか。	市長
	4. 認知症について	<p>現在、認知症高齢者が毎年毎年増加しており、対策にどう取り組むかが重要な課題になっている。</p> <p>65才以上の高齢者のうち、認知症の人は推計15%で、2012年時点で約462万人に上っている。本市65才以上の高齢者は20,286人、15%すると実に3,042人にも上る。</p> <p>その他に認知症になる可能性がある軽度認知症障害(MCI)の高齢者も約400万人いると推計、65才以上の4人に1人が認知症とその予備軍となる計算である。この数も含めると本市にも相当の認知症高齢者がいるものと思われる。認知症は早期に対応すれば病気の進行を遅らせることができる。</p> <p>早期診断、早期対応に向けた医療、そして介護サービスを充実させることが重要である。</p> <p>本市に於ける取り組みを示せ。</p>	市長
	5. 本市の基金について	<p>基金とは事業の経済的基礎になる金。事業や将来の目的の為に手をつけずにおく積立金や準備金とあるが、本市の基金もこのように解釈していいのか。</p> <p>基金の数と現在高はいくらか。</p> <p>本市ではどのような目的に運用するのか、決まりがあるのか。</p> <p>誰が提案し、決済するのか。</p> <p>合併後、運用はあったのか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>6. 旅館・ホテル施設誘致促進条例について</p>	<p>今後、運用活用する事案はあるのか。 基金のあり方、運用については、我々も含め市民も理解不足の感がある。基金の存在自体とその目的、運用活用方法について市民にも周知すべきである。行政だけではなく、市民の発想等も取り入れ、真に必要とするものの為に適正に運用活用していくことこそが、基金の在り方であり、市民の利益（財産）につながると思うがどう考えるか。</p> <p>旅館・ホテル施設誘致促進条例が先の3月議会で可決成立し、4月1日より適用されている。市内外の多くの人の知るところとなった。 反響も大きいですが、現在まで、問い合わせ、打診等があったのか。 また、この条例の中に既存施設も条件を満たせば補助の対象とするとのことだが、旧サンピアあいらも対象となるのか。この施設の現状はどうなっているのか。 今後の計画等について、持ち主のジョイと話し合いをしているのか。</p>	<p>市長</p>